

周産期心理支援の技法を身につけよう

妊娠・出産・子育ての時期は、さまざまな心理的負担がかかり、うつ病をはじめとしてさまざまな心理的不調をきたしやすい時期です。この時期に心理ケアの最前線で働く人々は、得てして「積極的な手助け」をしてしまい、それがかえってクライアントの自己回復力を削ぐことになりかねません。どうすればクライアントの気持ちを傾聴し、共感することで心理支援を行えるのでしょうか。このコースでは、心理支援の土台である傾聴・共感・探索などの基本的技法をわかりやすく解説します。そして多くの面接事例を提示し、参加者同士のロールプレイも活用し、明日の臨床で使用できる技法を身につけていただきます。

なお、本研究所で開催する「臨床で SCID を使いこなそう」や「北村俊則と読み解く産後うつ病の原因」を受講した方はさらに理解が深まるとおもいます。

使用教材 北村俊則（著）：周産期メンタルヘルススタッフのための心理介入教本、北村メンタルヘルス研究所、2013 を無料で送呈します

会場：北村メンタルヘルス研究所 東京都港区赤坂 8-5-13 ホームマツバロネス 101（地下鉄銀座線・半蔵門線・大江戸線 青山一丁目駅 B4出口から徒歩8分）

日程：2016年3月20日（日曜）および21日（祭日） いずれも9:30 - 16:30

参加費：40,000円（両日通し費用：部分的キャンセルはできません）

講師：北村 俊則（北村メンタルヘルス研究所 所長 熊本大学大学院元教授 ワシントン大学《セントリス》客員教授）

募集定員：8名（定員に達した場合は締め切ります）

登録：メールにてご連絡ください（電話での登録はできません）。仮登録の後、参加費の事前入金を確認しての正式のご登録になります。

キャンセルポリシー：開催の10日前までのキャンセルは無料です。以降前日までのキャンセルは参加費の50%をキャンセル料として申し受けます。



主催：北村メンタルヘルス研究所

107-0052 東京都港区赤坂 8-5-13-101

電話 03-6804-5662

E-mail info@institute-of-mental-health.jp

URL <http://institute-of-mental-health.jp>

少人数の
実習形式

全2回

9:30 - 16:30

